

# キャンプファイヤー進行例

※キャンドルセレモニーにも転用可能

## 【係】

- 火の神（引率者 年長者がよい）1名
- 火の子（児童生徒）4名
- 司会（児童生徒）1～2名
- BGM（児童生徒）1～2名
- 詩の朗読（児童生徒）2名

第1部・・・迎え火  
 第2部・・・スタンプ（各団体の企画による）  
 第3部・・・送り火  
 とした場合

## 【準備物】

- シーツ（火の神、火の子用） 5枚
- シーツをとめるダブルクリップ 適宜
- 火の神の冠 1個
- トーチ（角材の先に灯油を浸した雑巾を巻いたもの） 5本
- チャッカマン
- BGM（遠き山に日は落ちて・燃えろよ燃えろ・今日の日はさようなら）

## 【流れ】

流れ	担当	言葉	備考
整列			必ず全員が静かになっていることを確認してから始める。
【第1部】 始めの言葉	司会	ただいまより、キャンプファイヤーを始めます。この自然豊かな宮戸島で、みんなで力を合わせ、楽しい時間を作り上げていきましょう。（全員拍手）	火の神、火の子は着替えておき、CF場から離れたところ（なるべく見えないところ）に待機する。
歌	司会	まずは、みなさん、しばらく目を閉じ、自然の音に耳を傾けてみて下さい。（30秒程(ほど)）。目を開けてください。静けさの中に、自然や生き物の力強さを感じますね。この豊かな自然に囲まれた自然の家も、だんだんと夕闇(ゆうやみ)に包(つつ)まれてきました。夕闇(ゆうやみ)の静けさを感じながら、『遠き山に日は落ちて』を歌いましょう。	
	全員	♪「遠き山に日は落ちて」♪	1番のみ

火の神入場	司会	<p>この宮戸島の山の奥深くには、遥(はる)か昔より、火の神が住んでいらっしやいます。火の神は、特別な時にだけ山を下(お)り、人に火をお贈(おく)りくださいます。今日は、みなさんのために火の神が山を下り、聖(せい)なる火を運んできてくださるそうです。</p> <p>その暖(あたた)かい火は、きっと私たちを明るく浮(う)き上がらせてくれるでしょう。みなさんは火の神がたずさえる聖(せい)なる火にご注目ください。</p> <p>火の神の御登場(ごとうじょう)です。</p>	<p>火の神のトーチに点火する。</p> <p>「遠き山に日は落ちて」2番をBGMにする。</p> <p>火の神は火が付いたトーチを掲げながら4人の火の子を引き連れて、井桁のまわりをゆっくりと回る。</p>
	司会	<p>火の神が聖(せい)なる火を携(たずさ)えてお越(こ)しになりました。ここで火の神よりお言葉をいただきます。</p>	<p>火の子は火の神の両袖に並び。</p>
	火の神	<p>今宵(こよい)は、みなさんのために宮戸島の奥深くより、聖なる火を携(たずさ)えてまいりました。この聖なる火をもう一度、静かに見つめてください。(15秒程)</p> <p>火は、多くの生き物の中で、唯一(ゆいいつ)人間だけに与えられた宝物です。</p> <p>これからみなさんに「友情」「健康」「努力」「希望」の4つの火を分け与えましょう。</p>	<p>火の子は火の神の両袖に並び。</p>
誓いの言葉	火の子1	<p>(分火をしてもらったら)</p> <p>友情の火。思いやりを忘れず、友達を大切にすることを誓います。</p>	<p>火の子は火の神の前に並び。</p> <p>全員の方を向いて話す。言葉の後トーチを高く掲げる。その後火の神の横に並び。</p>
	火の子2	<p>(同様に)</p> <p>健康の火。これからも、健康であることを誓います。</p>	<p>※以下火の子4まで同じ。</p>
	火の子3	<p>(同様に)</p> <p>努力の火。何事にも常に努力を続けていくことを誓います。</p>	

点火	火の子4	(同様に) 希望の火。今日の良き日を忘れず、一步一步前進することを誓います。	火の神、火の子は井桁のまわりを囲む。
	司会	火の神により、火の子への分火が終わりました。ただいまより点火を行います。火の神と火の子は中央に集まり、同時に点火してください。聖なる火の点火。	
献詩	司会	見事に聖なる火が燃え始めました。この炎を見つめ、詩の朗読(ろうどく)を行います。	井桁へトーチを差し込み、点火する。
	朗読 1	<p>営(えい)火(か)は燃える</p> <p>営火は燃える 赤々(あかあか)と燃え まっすぐに燃え 勇気を出せと励(はげ)ます</p> <p>営火は燃える ゆらゆらと燃え 招(まね)くように燃え 豊かであれと励ます</p> <p>営火は燃える 踊(おど)るように燃え 舞(ま)うように燃え 輪を広げようと励ます</p> <p>私たちを支える営火の火は いつまでも闇(やみ)を照らし 今が本番だと教える</p> <p>人生には リハーサルがないと教える</p> <p>私たちはいつまでも この火を見つめる</p>	
歌	司会	さあ、聖なる火が強く輝(かがや)き始(はじめ)ました。この火を見つめながら『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう。	
	全員	♪「燃えろよ燃えろ」♪	
火の神退場	司会	火が赤々と燃えたところで、聖なる火を運んでくださった火の神が一度退場します。	火の神は火の子を連れて退場する。
	司会	(火の神・火の子が退場したら)この聖なる火は私たちの友情の火です。しばらくこの火を見つめましょう(15秒程)。それでは、赤々と燃えるこの火を囲み、第2部に入ります。第2部の司会の人、お願いします。(2部の司会と交代する。)	

【第2部】		※各団体の企画による	
【第3部】 始めの言葉 火の神入場	司会	これから第3部を始めます。楽しいキャンプファイヤーも終わりに近づいてきました。再び火の神が入場します。みなさんご注目ください。	火の神は単独で入場する。
献詩	朗 読 2	【あたりまえのことを】 あたりまえのことを あたりまえにやれて あたりまえのことを 感動できる人になりたい あたりまえのことを あたりまえにやることが おろそかになっては いないだろうか あたりまえのことに 感動できなくて 強い刺激 (しげき)のみを 追ってはいないだろうか 人間は人間らしくあるという あたりまえのこ を 大切にしたい	
火の神の言 葉	司会  火 の 神	では、最後に火の神より終わりの言葉をいただきます。  あんなに赤々と燃えていた火も、今は静かに大地へ返ろうとしています。しかし、みなさんの胸の中には赤々と燃える火が、今もきっと燃えているはずです。 この火がいつまでもみなさんの心に灯され、友情や希望の火として明るく輝き続けることを願い続けます。これから先、苦しいこと、悔(くや)しいこと、悲しいことがあった時には、この火を思い出し、力強く生きてください。また、会える日を楽しみにしています。	

歌	司会  全員	<p>ありがとうございました。この集いを振り返り、みんなの心を一つにして『今日の日はさよなら』を歌いましょう。</p> <p>♪「今日の日はさようなら」♪</p>	
火の神退場	司会	<p>それでは、火の神が森へ帰られます。みなさん最後まで見送ってください。</p> <p>(全員のハミングに見送られて火の神が退場する。)</p>	
終わりの言葉	司会	<p>キャンプファイヤーも終わりを迎えました。この集いで築(きず)いた友情を明日からの生活の中に生かしてください。</p> <p>これからもみんなが1つにまとまり、成長していくことを願(ねが)いながら、キャンプファイヤーを終わります。ありがとうございました。(全員拍手)</p>	